



Young Coordination Chemists' Association of Japan

錯体化学若手の会



URL: <http://www.sakutai.jp/yccaj/>
X (旧 Twitter) ID: @sakutai_wakate

錯体化学若手の会ニュースレター 2025年度 第1号

目次

1. 2025年度事務局よりご挨拶
2. 開催案内：錯体化学若手研究会「錯体化学若手の会夏の学校2025」
3. 開催案内：錯体化学会第75回討論会 企画シンポジウム
4. 開催案内：共催企画「錯体化学ホームカミングデー」
5. 開催案内：各支部勉強会
6. 錯体化学若手の会 2024年度会計および会員状況報告
7. 会員の最新論文紹介
8. 錯体化学若手の会 入会のご案内

発行 事務局 三澤 智世（上智大学） E-mail: t_misawa@sophia.ac.jp

錯体化学若手の会事務局（2025年度）

代表：三澤 智世（上智大学理工学部物質生命理工学科）

東京都千代田区紀尾井町7-1

E-mail: t_misawa@sophia.ac.jp TEL: 03-3238-3480

会計：深津 亜里紗（大阪公立大学 大学院工学研究科 物質化学生命系専攻）

E-mail: fukatsu@omu.ac.jp

錯体化学若手の会ニュースレター、ウェブサイトおよびメールニュースへの記
若手の会問い合わせフォーム（<https://goo.gl/forms/u0RhxuK0cjsq9m3O2> または
りご連絡ください。

問い合わせフォーム



※ メールアドレスはいずれも[at]を @ に変えて下さい

1. 2025年度事務局よりご挨拶

上智大学 理工学部 物質生命理工学科 三澤 智世

2025年度の錯体化学若手の会事務局は、代表：三澤 智世（上智大）、会計：深津 亜里紗（阪公大）、次年度事務局：中藺 孝志（阪公大）、ならびに監事：小川 知弘（九州大）の4名で担当させていただきます。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。なお今年度は若手の会を大いに盛り上げていくであろう多くの人材を迎えてのスタートとなりました。支部人数の偏りについては引き続き難しい問題がありますが、夏の学校をはじめ、本会全体として支部の枠を超えて柔軟に活動できる部分を模索しながらの運営となっていくことと思います。会員数も増加傾向の中、将来につながる運営を考えていく所存です。

COVID-19を経て、若手の会の活動様式も大きく変遷しました。それは必ずしもネガティブなことばかりではなく、オンラインツールの利活用につながったとも感じます。対面での相互交流の意義・ありがたみを改めて実感すると同時に、対面とオンラインそれぞれの良い点を上手く活かすことで研究会・勉強会および会議の場を持ち、この若手の会がより活力ある組織となることを皆さんと一緒に目指せたらと思います。

錯体化学若手の会 X（旧 Twitter）アカウント（@sakutai_wakate）を用いた発信も引き続き積極的に行ってまいります。本年度も皆様のご活躍の積極的な報告を楽しみにしております。ご自身の論文が受理されましたら、情報発信の手段として本アカウントをご活用ください（要領は9～10ページをご参照ください）。なお、既にご存知の方も多いと思いますが、今年度より錯体化学討論会での登壇にあたり本会への入会（錯体化学会学生会員となること）が必要要件となりました。また、論文紹介や第2号以降のニュースレター配信、世話人会議の議事録閲覧は、若手の会の会員限定コンテンツとなっておりますので、本年度の継続手続きを行っていない学生会員の皆さまはぜひ継続をお願いいたします。

至らぬ点も多くあることと存じますが、皆さんの声を聞きながら、対話をしながら、本会の発展に努めたいという思いは変わりません。お気づきの点は随時お知らせください。よろしくお願い申し上げます。

2. 開催案内：錯体化学若手研究会「錯体化学若手の会夏の学校2025」

京都大学高等研究院 物質－細胞統合システム拠点 田部 博康

2025年度は近畿支部で担当し、京都府京都市・ホテル京都エミナースにて開催します。触媒・超分子・物性・生物無機化学・有機金属など、様々な分野でご活躍の先生方に招待講演をお願いする予定です。また、例年通り、参加者によるポスター発表と若手研究者・学生講演も企画しています。参加登録は2025年5月に開始しました。参加登録ページに最新情報を公開していますので、そちらもご覧下さい。近畿支部世話人一同お待ちしております。

【主催】錯体化学若手の会

【共催】錯体化学会

【会期】2025年8月27日（水）～29日（金）

【開催地】京都竹の郷温泉 万葉の湯 ホテル京都エミナース（京都府京都市西京区）

【招待講演（五十音順）】

北川 宏 先生（京大院理）

小松 晃之 先生（中央大理工）

関 建司 先生（大阪ガスケミカル株式会社）

竹澤 浩気 先生（東大院工）

橋本 久子 先生（東北大院理）

八木 政行 先生（新潟大院自然）

楊井 伸浩 先生（東大院理）

その他、若手研究者・学生講演数件、ポスターセッションを予定

【懇親会】8月27日（水）、28日（木）夜に実施

【エクスカージョン】

8月28日（木）午後に実施。京都市内、京阪神近郊へのツアーおよび自由行動を予定。詳細は参加登録者に直接案内します。

【参加登録費（予定）】

・錯体化学会または錯体化学若手の会会員：一般 38,000 円，学生 28,000 円

・非会員：一般 39,000 円，学生 29,000 円

【参加登録期間】2025年6月2日（月）～6月30日（月）

【参加登録方法】

夏の学校ウェブサイト内の参加登録ページよりお申し込みください。

<http://www.sakutai.jp/yccaj/summer/2025/index.html>

【問い合わせ先】

田部 博康（世話人代表）

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

京都大学高等研究院物質－細胞統合システム拠点

E-mail: [tabe.hiroyasu.4y\[at\]kyoto-u.ac.jp](mailto:tabe.hiroyasu.4y@kyoto-u.ac.jp)（[at]を @ に変えてください）

3. 開催案内：錯体化学会第75回討論会 企画シンポジウム

大阪公立大学 大学院工学研究科 物質化学生命系専攻 深津 亜里紗

2025年9月15日～17日に開催される錯体化学会第75回討論会のシンポジウムにて、若手の会主催のセッションを開催いたします。本年度は「錯体化学の基礎を体系的に学ぶ」をテーマとし、大学院生・学部生を中心とする初学者や、異分野から参入された研究者、基礎を学び直したい皆さまを主な対象といたしました。講演では、錯体化学の基本概念を平易に解説したうえで、理解を深めるための質疑応答の時間も十分に設ける予定です。

近年、材料化学など他分野との連携が加速し、錯体化学の応用範囲はますます広がっています。本セッションでは基礎を再確認し、研究者間で共通理解を醸成することで、分野横断的な研究の発展に寄与することを目指します。より深く充実した議論を行うため、講演はすべて日本語で行います。

錯体化学の基礎を体系的に学べる貴重な機会です。多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

○主題

「初学者のための錯体化学基礎講座」 ※日本語セッション

○日時・場所

2025年9月15日（月）

錯体化学会第75回討論会 シンポジウム S6

（長崎大学 文教キャンパス）

○開催責任者

深津亜里紗（大阪公立大学）

Email: fukatsu[at]omu.ac.jp

（[at]を @ に変えてください）

4. 開催案内：共催企画「錯体化学ホームカミングデー」

京都大学高等研究院 物質－細胞統合システム拠点 田部 博康

『錯体化学ホームカミングデー』は、第73回討論会（茨城）での若手連携推進委員会主催ランチョンセミナー「若手研究者にとって魅力ある錯体化学会へ」での参加者の提言をふまえ、第74回討論会（岐阜）にて錯体化学会産学連携委員会主催（錯体化学会若手連携推進委員会、錯体化学若手の会共催）で初めて開催された、錯体化学若手の会および錯体化学会OBと現役学生の交流イベントです。若手連携推進委員会と産学連携委員会が共催して2回目の開催を企画します。今回は錯体化学若手の会は共催ではありませんが、若手の会会員の主要層である学生、若手教員をターゲットとした内容ですので、積極的な参加をお待ちしております。また、着席交流会形式の交流会の進行を務めるファシリテーター役を、若手の会会員（特に教員）にお願いする予定です。

（1）開催概要

日程：2025年9月16日（水）16時～18時頃（錯体化学会総会と同時進行）

会場：長崎大学

会告・参加登録：<https://x.gd/SqQqz>

（2）内容

【概要】本イベントでは、錯体化学会討論会の期間中に、企業等で活躍されている錯体化学会の学生会員OB・OGを招き、若手研究者や学生と交流する場を提供することでネットワーク形成を促します。若手研究者や学生にとっては、錯体化学が社会の中でどのような形で活かされているのかを知り、研究モチベーション向上やキャリアデザイン支援の機会となります。一方、招待する企業所属OB・OGにとっては、将来の人材発掘や企業周知の機会となります。さらに、イベント参加企業の方には、アカデミックプログラムも無料でご聴講いただけるよう設定することにより、錯体化学分野の最新の研究トピックスにも触れていただける機会も設けます。

【プログラム】

第1部 企業参加者の自己紹介（講演会場でのプレゼン）（30分）

第2部 交流会（いくつかの会場に分かれて自由討論）（60分）

第2部の交流会は、着席交流会形式で1テーブルに企業の方、教員（ファシリテーター役）、学生が入った席を用意し、各々のテーブルで20分程度交流する。このテーブルを企業の方が移動し、様々な人と触れ合うようにする。お招きするOB・OG関係者は10名～20名程度を予定。

（3）実行委員

開催責任者：楊井 伸浩（錯体化学会若手連携推進委員会 委員長）

若手連携推進委員会（楊井、田部、豊田、三原、山田、吉田、吉成）

産学連携推進委員会（大津、大迫、中島、大場、小林）

（4）問い合わせ先

楊井 伸浩（東大院理） [yanai\[at\]chem.s.u-tokyo.ac.jp](mailto:yanai[at]chem.s.u-tokyo.ac.jp)

吉成 信人（阪大院理） [nobuto\[at\]chem.sci.osaka-u.ac.jp](mailto:nobuto[at]chem.sci.osaka-u.ac.jp)

（[at]を @ に変えてください）

5. 開催案内：各支部勉強会

【中国・四国支部】（終了しました）

第16回中国四国地区錯体化学研究会・錯体化学若手の会 中国・四国支部第8回勉強会

主催：中国四国地区錯体化学研究会・錯体化学若手の会中国・四国支部

高知工科大学総合研究所 キラル光機能物性研究センター

開催日時：2025年5月24日(土) 13:00～16:30

会場：高知工科大学永国寺キャンパス 教育研究棟 A104 教室

講演者：佐藤 久子 先生（愛媛大学）、後藤 知代 先生（奈良先端科学技術大学院大学）、

高原 一真 先生（兵庫県立大学）、今村 和也 先生（高知大学）

世話人：松本 健司（高知大学）、越智 里香（高知大学）

【関東支部】

錯体化学若手の会 関東支部 2025年度 前期勉強会

開催日時：2025年6月21日（土） 13時30分（13時受付開始）

会場：東京科学大学 大岡山キャンパス 本館 M-178

参加費：無料（懇親会費別）

プログラム：

13:00-13:30 受付

13:30-13:35 開会挨拶

13:35-14:25 土戸 良高 先生（東京理科大学）

「ナノリング合成のゴールドラッシュ！」

14:25-15:15 中村 貴志 先生（筑波大学）

「金属中心とその配位サイトを秩序配列した大環状多核錯体の合成と
精密分子捕捉」

15:15-15:35 休憩

15:35-16:25 山岸 洋 先生（筑波大学）

「機能性有機分子の集積体に発現する光共振・レーザー機能の開拓」

16:25-17:15 桑村 直人 先生（工学院大学）

「電極触媒として用いる金属錯体の設計」

17:15-17:20 閉会挨拶

18:00- 懇親会（2時間程度）

世話人：藤崎 寛人（東京科学大学）

【近畿支部】

錯体化学若手の会 近畿支部 第68回勉強会

開催日時：2025年6月21日（土）13時（12時30分受付開始）

会場：大阪大学 吹田キャンパス U3 棟 211 講義室

参加費：無料（意見交換会への出席は別費用（2000円程度））

プログラム：

12:30–13:00 受付

13:00–13:05 開会あいさつ

13:05–13:45 久米 晶子 先生（広島大学）

「金属/有機膜界面における CO₂ 還元～錯体と金属の間で反応性を探る」

13:45–14:25 日下 心平 先生（名古屋大学）

「動的空間における分子集合体の光反応」

14:25–14:30 写真撮影

14:30–15:40 ポスター発表+休憩

15:40–16:20 陶山 めぐみ 先生（東北大学）

「配位子保護金属クラスター：個の魅力と集合体への展開」

16:20–17:10 劔 隼人 先生（大阪大学）

「 d^0 金属錯体の LMCT を活用する触媒反応開発」

17:10–17:20 閉会あいさつ・次回予告

17:30–19:30 意見交換会

参加申込：参加人数把握のため、ポスター発表希望の有無にかかわらず5月21日（水）を締切とさせていただきます。参加をご希望の方は以下のフォームで必要事項をご記入の上、お申し込みください。

・申込フォーム：<https://forms.gle/eyCbzpHmSmxLqnE9>

（ポスター発表希望者は発表タイトル等の入力もお願いいたします。）

○申込締め切り：2025年5月21日（水）

○ポスターについて

ポスターのサイズは A0 以下のサイズでご準備ください。

優秀発表に対してポスター賞を予定しています。

世話人：米田 暁（大阪大学）

6. 錯体化学若手の会 2024年度会計および会員状況報告

大阪大学 大学院基礎工学研究科 物質創成専攻 松岡 亮太

<収入>	執行額	備考
前年度繰越金	¥1,430,917	学生会員分 (他 1 名分は 2022 年度払込済) 一般会員年会費相当分
年会費	¥329,000	
錯体化学会からの移算	¥107,000	
受取利子	¥35	
収入計	¥1,867,952	
<支出>	執行額	
夏の学校支援金	¥400,000	
討論会シンポジウム支援金	¥30,000	
支部活動支援金	¥287,974	
会議費 (2 回分)	¥12,600	第 2 回では使用せず
会員管理アルバイト謝金	¥0	アルバイト使用せず
通信費・振込手数料	¥1,650	
支出計	¥732,224	
差引残高	¥1,135,728	

○支部別の会員数動向 (2025年3月7日現在)

支部名	会員数 (前年度増減)	会費納入者数
北海道・東北	35 (+1)	35
関東	159 (+31)	159
北陸	10 (+2)	10
中部・東海	24 (-1)	24
近畿	151 (+32)	151
中国・四国	15 (-7)	15
九州・沖縄	43 (+11)	43
不明・海外	0 (-1)	0
合計	437 (+68)	437

(会員数内訳：一般107名、学生330名)

7. 会員の最新論文紹介

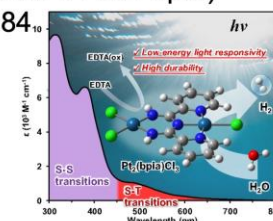
錯体化学若手の会では、会員内での情報共有と学生会員のエンカレッジを目的として、2018年度より会員の発表した論文をX（旧 Twitter (@sakutai_wakate)）およびニュースレターで紹介しています。論文の掲載が決定された方は、是非本コーナーへの寄稿をお願いします。皆さまの積極的な投稿をお待ちしております。



國久保透真,¹ Raúl Castañeda,² Muralee Murugesu,² Jaclyn L. Brusso,² 山内幸正,¹ 小澤弘宜,¹ 酒井健¹ (1九大理化, 2Univ of Ottawa)
Diplatinum Single-Molecular Photocatalyst Capable of Driving Hydrogen Production from Water via Singlet-to-Triplet Transitions
Angew. Chem. Int. Ed., **2025**, 64, e202418884. (Selected as a Hot Paper)
<https://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1002/anie.202418884>

ポイント

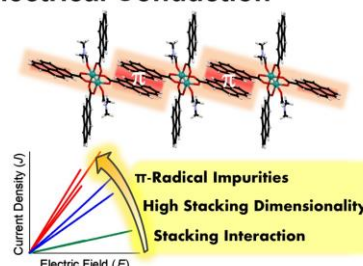
- 2つのPt^{II}が近接して配位した新規白金二核錯体がスピン禁制遷移であるS-T遷移によって長波長の光を吸収することを明らかにした。
- 水溶液中においてS-T遷移を発端とする低エネルギー光水素生成反応を駆動する世界初の分子性光触媒であることを見出した。



高木恋¹, 井口弘章¹, 瞿李元¹, Jenny Pirillo¹, 日下心平¹, 土方優², 田中久暁^{1,4}, 松田若菜³, 関修平³, 松田亮太郎^{1,2} (1名大院工, 2未来社会脱炭センター, 3京大院工, 4千歳科技大理工)
Diruthenium(II,II) Complex Assemblies Showing Electrical Conduction via π -Stacked 2-Pyrenecarboxylate Moiety
Chem. Asian J. **2025**, 20, e202401599 (VIP)
<https://doi.org/10.1002/asia.202401599>

ポイント

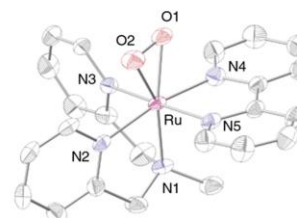
- 広い π 共役系をもつ2-ピレンカルボン酸を導入したRu₂(II,II)錯体を3種類合成し、結晶中での分子間相互作用と伝導特性の関係を明らかにした。



小島隆彦¹, 高岡知輝¹, 千葉湧介^{1,2}, 小谷弘明¹, 藤崎寛人^{1,3}, 石塚智也¹, 柳澤幸子⁴, 久保稔⁴, 塩田淑仁⁵, 吉澤一成⁶
 (1筑波大, 2AGC, 3科学大, 4兵庫県立大, 5九州大, 6京都大)
Mechanistic Insight into Water Oxidation Catalysis by a Mononuclear Ruthenium Complex. *Inorg. Chem.* **2025**, in press.
<https://doi.org/10.1021/acs.inorgchem.5c00138>

ポイント

- 単核Ru^{IV}オキソ錯体による水の酸化反応について、水の求核攻撃によるO-O結合生成と、サイドオンRu^{IV}-パーオキソ錯体と平衡にあるエンドオンRu^{III}スーパーオキソ錯体からO₂が脱離する過程を速度論解析等を用いて詳細に明らかにした。





楠本壮太郎,¹ 増田峻也,¹ 鈴木凌,² 橘勝,² 島袋将也,³ 小林真美子,³ 荻原直希,⁴ 福井智也,³ 辻雄太,⁴ 岡村将也,¹ 引地史郎,¹ ヤンキム,⁵ 小出芳弘¹ (神奈川大,¹ 横市大,² 東京科学大,³ 九大,⁴ 熊本大⁵)

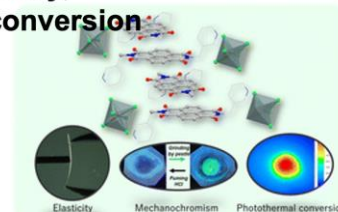
Flexible organic-inorganic hybrid crystals of tin(IV) chloride and naphthalenediimide: exploring elasticity, mechanochromism, and photothermal conversion

J. Mater. Chem. C, **2025**, 13, 8470 - 8478

<https://doi.org/10.1039/D5TC00891C>

ポイント

- ・有機無機ハイブリッド結晶で弾性変形
- ・メカノクロミック材料、光熱変換材料としても機能



加藤日菜子,¹ 堀井洋司,¹ 渡邊千遥,¹ 佐々木俊之,² 一柳光平,² 野口真理子,³ 藤森裕基,³ 山本太郎,⁴ 鈴木晴,⁴ 平井悠一,⁵ 大村孝仁,⁵ 矢野圭吾,⁶ 林正太郎,⁶ 梶原孝志¹ (奈良女子大,¹ JASRI,² 日本大,³ 近畿大,⁴ NIMS,⁵ 高知工科大⁶)

Molecular Thermal Engine Based on a Highly Flexible Elastic Crystal

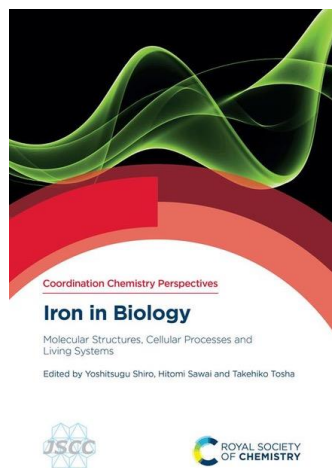
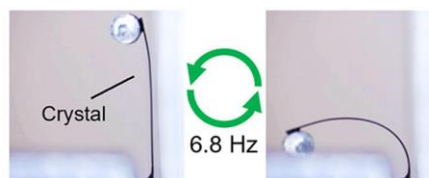
J. Am. Chem. Soc., **2025**, Accepted

<https://doi.org/10.1021/jacs.5c03529>

ポイント

・有機結晶が温度差のみで高速、持続的(160時間以上)かつ大きな振動を示した。これは、静的な温度差を運動エネルギーへ変換する機能を持った世界初の有機結晶である。

Large, rapid and continuous motion



藤崎寛人 (東京科学大)

鉄含有酵素の機能とその模倣に関する "Iron in Biology: Molecular Structures, Cellular Processes and Living Systems" (Chapter 13 を分担)が発刊されました！

掲載の条件

若手の会会員による最近の論文（およそ半年以内）であり、論文の PDF データがオンライン掲載され、DOI が割り当てられていること。

投稿要領

若手の会問い合わせフォーム（下記 URL または QR コード）よりダウンロードしたテンプレートに論文情報を入力し、フォームの各項目にご記入の上、投稿してください。なお、投稿前に必ず指導教員の許可を得てください。

<https://goo.gl/forms/u0RhxuK0cjsq9m3O2>



担当（2025年度）

中蘭 孝志（大阪公立大）

nakazono[at]omu.ac.jp（[at]を @ に変えて下さい）

8. 錯体化学若手の会 入会のご案内

本会は、錯体化学会の部会として錯体化学に関連した分野で研究を行っている若手の研究者（大学・企業・研究所の研究者）および大学院生・大学生の交流・情報交換を通して、自らの研究に対する情熱と知識を高め、エンカレッジする会です（2025年度3月時点の会員数437名）。錯体化学に関心のある学生または40歳以下の方であれば、スタッフ・企業人・大学関係者等の所属や身分を問わず、どなたでも入会いただけます。日本全国の同世代の研究者と知り合い、研究の視野を広げるためにも積極的に本会を利用して下さい。（Slackでの活動については、若手の会への入会を義務としておりません。是非、皆様の周りにも参加をおすすめ下さい。）

会員特典と活動内容

- 夏の学校の開催（会員は参加費の割引あり）
- 支部・地区単位での勉強会の開催
- 若手の会 X（旧 Twitter）アカウントにおける会員の論文紹介
- 錯体化学若手の会ニュースレター（年3回）の配布
- 錯体化学会討論会における学生参加登録資格および登壇資格
- 錯体化学会誌（BJSCC）電子版の配布
- 若手の会および錯体化学会会員名簿の閲覧（名簿記載者のみ）
- 若手の会および錯体化学会メーリングリストによる情報発信

入会手続き

若手の会の会員は一般会員と学生会員の2種類からなり、それぞれ入会手続き方法が異なります。会員区分を問わず年会費は¥1,000（年度区分は4月1日～翌年3月31日）です。錯体化学会の正会員の方は年会費が免除されます。

- 一般会員 若手の会ウェブサイト「問い合わせフォーム」より事務局へご連絡ください。折り返しご連絡いたします。自動更新されるため、年度ごとの手続きは必要ありません。
- 学生会員 錯体化学会入会申込ページ（<http://www.sakutai.jp/membership/>）にて手続きください。錯体化学会の学生会員として入会手続きすることで、自動的に若手の会の会員として登録されます。若手の会の年会費（¥1,000）以外に、追加の支払いはありません。

※ 学生会員は自動更新されません。年度ごとに更新手続きをしてください。

登録に際して集めた情報のうち、本人の同意がある情報については錯体化学会の会員限定コンテンツにて閲覧可能になります。平成17年4月より「個人情報保護法」が施行になったため、以上をご理解いただいたうえ会員登録の際に名簿への記載に関して同意いただけるかどうかを必ず明記ください。詳細は若手の会ウェブサイトを参照または事務局までお問い合わせください。